

令和八年度春季特別展

湖東の近代国語教育史

河村豊吉と

『赤い鳥』



— 令和8年 —

4月11日(土) ~ 5月24日(日)

開館時間 10:00~17:00

休館日 / 月曜日・火曜日 ※祝日は開館

入館料 / 一般300円(250円) 小・中学生150円(100円)

※()内は20名以上の団体料金 ※愛荘町在住者は無料

無料入館日 / 令和8年4月18日(土)・19日(日)、5月3日(日)~5日(火)



愛荘町立歴史文化博物館

滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地 TEL0749 (37) 4500

『赤い鳥』前島とも子挿絵画より抜粋

湖東の近代国語教育史



河村豊吉と『赤い鳥』

『赤い鳥』



『国語読本学習書』(当館蔵)

河村豊吉は、明治21年(1888)に愛知郡東押立村(現:東近江市中里町)で生まれました。明治42年(1909)に滋賀県師範学校を卒業してから、愛知郡や蒲生郡の学校で教鞭をとり、『国語読本学習書』や『学習指導読方教育の実践』といった教材を執筆し、国語教育の特に読方教育に力を入れました。

昭和6年(1931)には愛知郡愛知川小学校(現:愛荘町立愛知川小学校)に校長として赴任し、在任中に児童雑誌『赤い鳥』を用いた教育の活動に力を入れ、子どもたちの詩を数多く投稿しました。その詩の多くが特選や佳作に選ばれました。

愛荘町では、平成21年(2009)から施行された「愛荘町まちじゅう読書の宣言」により、まちじゅう読書の推進を行ってきました。さらに、令和7年(2025)には、「愛荘町まちじゅう読書の条例」を制定しま



『国語学習読本』(当館蔵)



した。愛荘町の人びとが読書に親しむ根底には、河村豊吉の国語教育が影響しているともいえます。

本展覧会では、河村豊吉が使用した教材や『赤い鳥』、またそこに掲載された子どもの詩を展示し、彼が取り組んだ国語教育について紹介します。

【学芸員による展示解説】

開催日:4月19日(日)、5月17日(日) 時間:各日11時~、14時~
場所:歴史文化博物館 特別展示室 参加費:無料(要入館券)



愛荘町立歴史文化博物館

(金剛輪寺参道隣)

〒529-1202 滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺878番地
TEL.0749(37)4500 FAX.0749(37)4520
<https://www.town.aisho.shiga.jp/hakubutsukan/>



アクセス 【電車】JR稲枝駅、近江鉄道愛知川駅・豊郷駅から予約乗合タクシー「愛のりタクシーあいしょう」
金剛輪寺停留所下車(詳細は愛荘町ホームページを参照)
※「愛のりタクシーあいしょう」の予約先:近江タクシー(株)彦根営業所 TEL.0749-22-1111
【自動車】名神高速道路「湖東三山スマートIC」より1分

